

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 3 日現在

機関番号：32601

研究種目：基盤研究（A）

研究期間：2008～2012

課題番号：20252006

研究課題名（和文） 国際政治に見る欧州と東アジアの地域統合の比較研究—規範、安全保障、国境、人の移動

研究課題名（英文） Comparative Study of Regional Integration between Europe and East Asia in the International Politics—Norms, Security, Borders and People's immigration—
研究代表者

羽場 久美子（KUMIKO HABA）

青山学院大学・国際政治経済学部・教授

研究者番号：70147007

研究分野：国際政治

科研費の分科・細目：国際関係論

キーワード：拡大 EU、東アジア、地域統合、規範、安全保障、国境、人の移動

1. 研究計画の概要

(1) 本研究は、国際政治における欧州と東アジアの地域統合ないし地域協力を、規範、安全保障、国境、人の移動をテーマとして研究を進めるものである。具体的には、

- 1) 国際政治における地域統合の理論研究（山本吉宣代表）、
- 2) 拡大 EC/EU の地域統合の課題と問題点（押村高・羽場久美子代表）、
- 3) 東アジアの地域協力関係、地域統合の実証研究（高木誠一郎代表）、
- 4) 人の移動に関するヨーロッパとアジアの比較研究（手塚和彰代表）、
- 5) 全体の相互検討と問題点・課題の抽出・政策提言の積み上げ、など、以上の 5 点を軸に研究会と国際会議を継続・開催する。

(2) 基本研究構想は以下の点に集約できる。

A) ヨーロッパとアジアの地域統合に関する比較研究、B) 主権の重層化と変容に関する研究、C) 国際政治の理論・機構・地域・規範などの多面的な研究と政策提言、D) 日本の位置と役割、E) 学術会議や欧州代表部、各学会との連携による研究、など。

2. 研究の進捗状況

(1) 研究計画に沿って、この 3 年間、国内外の研究者や大学、外務省、大使館等と連携しながら年毎十回に及ぶ研究会や 5 つの国際会議を積み重ね、その成果を中間報告書として、毎年各 1 冊（英文 2 冊）の Proceedings（英文）と研究報告書（和文 3 冊）としてまとめ、英文は欧州アジアの大学を中心として 200 か所、日本は 70 か所の図書館と 150 人の関係研究者に成果を公表して、評価を得てきた。

(2) 今後 2 年間は、それらのまとめとして、代表羽場久美子はハーバード大学に調査研究に出る。山本吉宣、高木誠一郎は定年退職となったが、引き続き、協力者として研究を行い、押村高・袴田・羽場を中心として、東アジア・欧州。ロシアの地域統合の比較研究を行う予定である。また共同研究者と共同で、共著・論文集を発表・刊行するとともに、市販の共著も 1, 2 年をめどに刊行予定である。

3. 現在までの達成度

- (1) 国際政治における欧州、および東アジアの地域統合に関し、関連文献を蒐集、検討し、報告し議論を積み重ねてきた。
- (2) 加えて、毎年年度末に、EU 代表部や EU 加盟国、さらにアジアの国々の代表を招聘し、毎年大きな国際会議を 1, 2 回、地道な研究報告会を 4, 5 回行うことにより、議論を積み重ねてきた。
- (3) それらの地道な研究成果として、毎年、研究報告書と、英語の Proceedings を刊行し検討を重ねてきた。
- (4) 以上を踏まえてこれまでの研究成果を整理・総括し、2 年間の活動を踏まえ著書を刊行する予定である。(2012 年 3 月-2013 年 3 月を計画中である。)

4. 今後の研究の推進方策

- (1) この 3 年間の、研究活動、国際会議を踏まえ、議論を積み重ね、最終年度には国際政治における「ヨーロッパとアジアの地域統合（仮）」として、研究内容を書籍にまとめ出版する予定である。

研究報告の概要は以下（予定）

1. 理論、機構、制度
地域統合と帝国論（山本吉宣）和解と地域主義—グローバルとナショナルとの4層構造（羽場久美子）

2. 主権とアイデンティティの重層性
国際正義と規範の多層化（押村高）、3. 地域の安全保障 規範の変容
東アジアの安全保障とASEAN地域協力（山影進）、対アメリカ関係をめぐる欧州とアジアの安全保障（森井裕一）、アジアと欧州のはざま—ロシアの社会と安全保障（袴田茂樹）
4. アジアにおける帝国と地域統合
中国外交—周辺との地域安全保障（高木誠一郎）、中国—国家と地域の2元性（天児慧）

5. 代表的なこれまでの研究成果
（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計32件）

- ① Yoshinobu Yamamoto, “Institutionalization in Northeast Asia: Is outside-in regionalization enough?,” *Institutionalizing Northeast Asia*, pp.21-42, 2008. (査読有)
- ② Seiichiro Takagi, “The Chinese approach to regional security internationalism,” *Institutionalizing Northeast Asia*, pp.165-184, 2008. (査読有)
- ③ 羽場久美子「冷戦終焉20年と中・東欧」『歴史評論』716巻、15-30頁、2009年（査読有）
- ④ 押村高「グローバル化と共同体論の位相転換」『政治思想研究』9巻、33-58頁、2009年（査読有）
- ⑤ 羽場久美子「グローバリゼーションとトラフィッキング—実態と戦略」『年報政治学』2010-II巻、174-193頁、2010年（査読有）

〔学会発表〕（計13件）

- ① 羽場久美子「拡大EU：拡大EUと東アジア共同体—比較政治の観点から」日本政治学会・日本学術会議共催、2008年10月、関西学院大学。
- ② 山本吉宣「地域統合—理論化と問題点」、日本政治学会・日本学術会議共催、2008年10月、関西学院大学。
- ③ 袴田茂樹「Вопросы безопасности в Северо-Восточной Азии и отношения доверия между Японией и Россией（北東アジアにおける安全保障と日露間の信頼関係）」、国際シンポジウム「北東アジアにおける安全保障と信頼関係」2009年7月、ウラジオストク。
- ④ Kumiko Haba, “Twenty years of the End

of the Cold War and the Regional Cooperation in Europe,” CHIR（世界国際関係学会日本大会）, 5 December 2009, Tokyo.

- ⑤ Kumiko Haba, “The Enlarged EU and the East Asian Regional Cooperation: The Reconciliation with Enemies and the Alliance with the USA,” ISA, 19 March 2011, Montreal, Canada.

〔図書〕（計33件）

- ① 山本吉宣『国際レジームとガバナンス』有斐閣、2008年。
- ② 高木誠一郎「冷戦後の中美関係：以日本の視角」、黄大慧編著『变化中的東亜与美国』（北京：社会科学文献出版社）、2010年。
- ③ 押村高編著『越える—境界なき政治の予兆』風行社、2010年。
- ④ 森井裕一編『地域統合とグローバル秩序—ヨーロッパと日本・アジア』信山社、2010年。
- ⑤ 羽場久美子・溝端佐登史編著『世界政治叢書 ロシア・拡大EU』ミネルヴァ書房、2011年。

〔その他〕

ホームページ

- ① 青山学院大学 羽場久美子
<http://raweb.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kojinId=gffj>
- ② 科研テーマに関する国際会議
http://side.parallel.jp/hb/jp_index2.html
- ③ 科研テーマに関する国際会議（英文）
http://side.parallel.jp/hb/en_index.html